

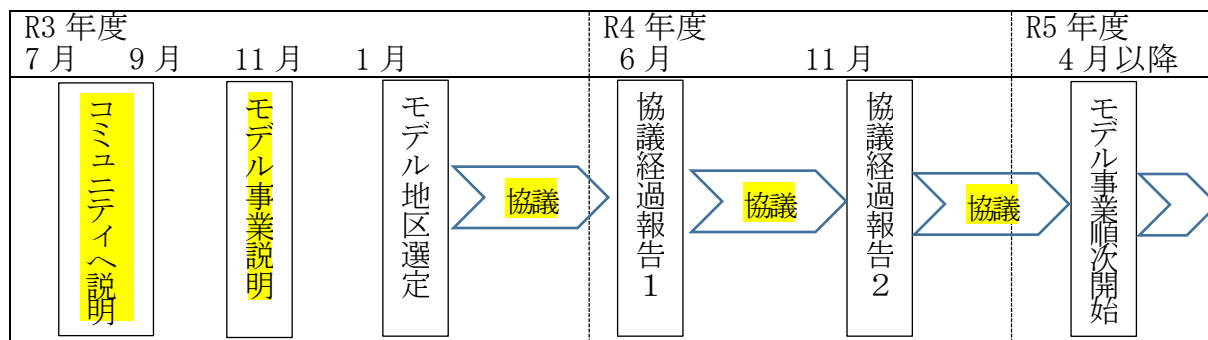
これからの本市における地域づくりの進め方について

1 めざす姿

少子高齢化や核家族化の進行、ライフスタイルの多様化や価値観の変化等により、市民ニーズは複雑化・多様化しており、様々な地域課題について、今後、行政のみで対応することは困難であり、地域の力がますます重要になってくる。

このような中、今後の地域づくりにおいては、コミュニティを市の重要なパートナーとして協働・共創のまちづくりを推進するため、地域住民の交流の推進をはじめ、地域の特性、その強みや弱みを把握し地域福祉や防災等の様々な分野の課題を各種団体等と連携・協力を強化して主体的に解決していく仕組みづくりを進める。

2 スケジュール



網掛け：大学教授にコーディネート依頼

3 進め方等

(1) コミュニティへの説明（令和3年（2021年）7月～9月）

12コミュニティをブロックに分けて（北・中・南の3ブロックを想定）、会長、副会長及び事務局等に「コミュニティを中心とした地域運営体制のあり方」を説明等する。

(2) コミュニティへモデル事業の説明（令和3年（2021年）9月～11月）

「コミュニティを中心とした地域運営体制のあり方」に取り組む意欲のあるコミュニティへ、町内会・自治会をはじめ幅広い団体等から参加者を選出してもらい、高齢者等を地域で支え合う活動や有事の際に備えた防災に関する活動等のモデル事業に関するテーマ及び進め方を説明等する。

(3) モデル地区の選定と事業開始への協議（令和4年（2022年）1月から月1回程度）

令和4年（2022年）1月を目途に、手上げ方式によりモデル地区（2～3のコミュニティを想定）を選定した後、令和5年（2023年）4月以降に順次、モデル事業を開始できるよう必要な協議等を行う。